

環境ビジョンと脱炭素ビジネス

■ 環境ビジョンと環境長期目標

気候変動、資源の枯渇、生態系の破壊など、さまざまな環境問題が深刻化する中、企業の環境負荷軽減への要請や期待はますます高まるとともに、企業の果たすべき責任や貢献も大きくなってきています。

そのような中で、日立では、環境負荷低減に対するグローバルな要請を踏まえた経営戦略として「環境ビジョン」を策定し、「日立は、ステークホルダーとの協創による社会イノベーション事業を通じて、環境課題を解決し、生活の質の向上と持続可能な社会の両立を実現する」と宣言しています。この環境ビジョンのもと「低炭素社会」「高度循環社会」「自然共生社会」の実現をめざし、2016年9月に2030年・2050年を見据えた環境長期目標「日立環境イノベーション2050」を策定しました。この環境長期目標の達成に向けて、これまで、3年ごとに「環境行動計画」を定めていますが、2021中計の策定に合わせて「2021環境行動計画(2019-2021年度)」を作成し、環境活動を強化、推進しています。

日立の環境ビジョン:

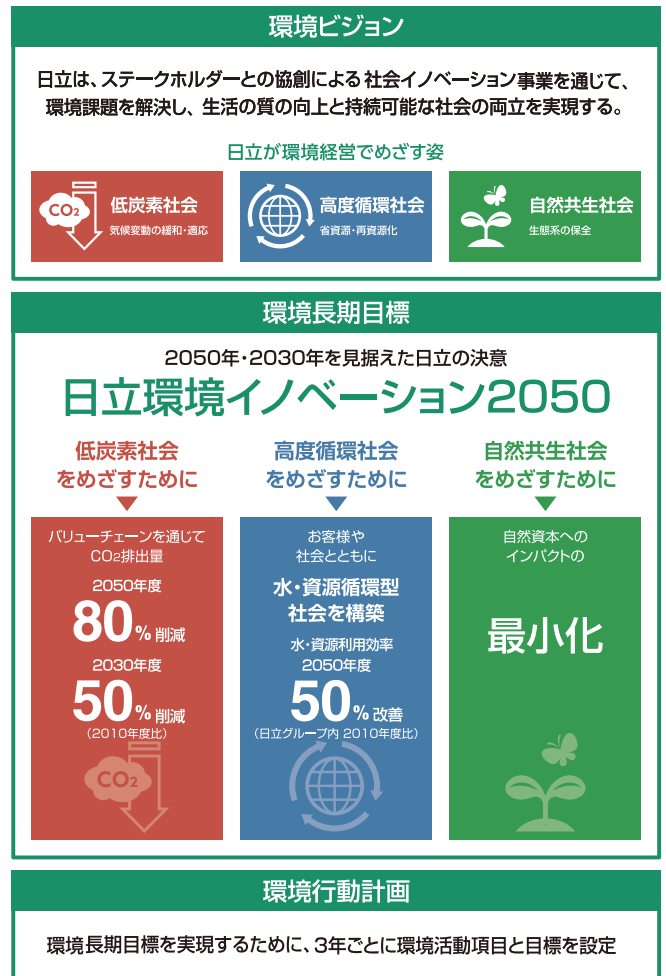
<https://www.hitachi.co.jp/environment/vision/index.html>

■ 低炭素社会の実現に向けた日立の取り組み

「日立環境イノベーション2050」では、気候変動問題への対応として、世界の気温上昇が2℃未満に収まるシナリオをもとに、バリューチェーン全体でのCO₂排出量を、2010年度比で2030年度までに50%、2050年度までに80%削減するというCO₂削減目標を策定しています。

日立が提供する製品・サービスにかかわる原材料・部品の調達から、生産、輸送、使用、廃棄・リサイクルまでのバリューチェーン全体におけるCO₂排出量を算定すると、販売した製品・サービスの「使用」時に発生するCO₂排出量が全体の約9割を占めています。このため、バリューチェーン全体のCO₂削減を図る上では、製品・サービスの「使用」段階での排出量の削減に注力していくことが重要であると考えています。

販売した製品・サービスの「使用」時に発生するCO₂排出量の削減に向けては、個々の製品・サービスの省エネルギー化を一層推進するとともに、ITなどの革新的技術を活用したシス



テム・ソリューション全体として脱炭素化に貢献する「脱炭素ビジネス」の拡大を促進していきます。

また、「生産」などに伴うCO₂排出については、2018年度から、日立インターナルカーボンプライシング(HICP)制度を導入し、工場やオフィスにおける生産の高効率化や、省エネルギー化に対する投資へのインセンティブを設けるなど、その削減策を強化して進めています。さらに、さまざまな手段を通じて、国内外の事業所への再生可能エネルギーの導入を加速し、CO₂排出量の一層の削減を図っていきます。

2018年6月には、気候変動が企業の事業に与える財務的影響に対する投資家などからの関心の高まりを背景に、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言への賛同を表明し、そのガイドラインに基づいて、気候変動関連の情報開示を積極的に進めるとともに、投資家との対話も行っています。

■ 脱炭素ビジネスの拡大を通じた気候変動対応

2021中期経営計画では、社会イノベーション事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献すべく、IT、エネルギー、インダストリー、モビリティ、ライフの5つのセクターのソリューションでお客さまの3つの価値（社会価値、環境価値、経済価値）を同時に向上させていくことを目標に掲げています。そして、2021年度にはバリューチェーンを通じて、2010年度比で20%超のCO₂排出量削減に貢献するとしています。

日立はLumadaを活用した協創を通じて、CO₂削減に貢献する「脱炭素ビジネス」を拡大し、気候変動の緩和と適応に貢献してまいります。

「IT」セクターでは、革新的なデジタルソリューションを提供し、社会システムや生活のあり方を変革することを通じて、低炭素社会の構築に貢献してまいります。

「エネルギー」セクターでは、再生可能エネルギーや原子力などの非化石エネルギーを活用した発電システムの提供や、送配電の効率化・安定化、および地域内におけるエネルギー需要と供給の最適化に貢献するスマートグリッドの実現を通じ

て、CO₂排出量の削減に貢献します。

「インダストリー」セクターでは、高効率産業機器の提供を通じてお客さまの工場の省エネルギー化を図るだけでなく、IoT・AIの活用を通じて工場全体の最適なオペレーションを実現することで、お客さまのCO₂排出量の削減に貢献しています。

「モビリティ」セクターでは、鉄道車両の軽量化による省エネルギー化のみならず、高度なIT技術を活用した運行システムの導入によるシステム全体の効率化に貢献します。

「ライフ」セクターでは、ITによるコネクティビティを高め、安全かつ効率的で、暮らしやすい生活を実現するため、クリーンエネルギー自動車、スマート家電などの高効率・省エネルギー型の製品・サービスを提供します。さらに、これらをつないだスマートシティやスマートモビリティシステムをお客さまとともに構築し、脱炭素型の誰もが暮らしやすいまちづくりの実現に貢献してまいります。

日立の注力する脱炭素ビジネス

IT ソリューション	エネルギー ソリューション	インダストリー ソリューション	モビリティ ソリューション	ライフ ソリューション
<ul style="list-style-type: none"> ■ 金融・公共向けソリューション ● デジタルソリューションの普及 ■ データセンター ● データセンターのスマート化 ■ サーバー / ストレージ ● サーバー / ストレージの省エネ化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ グリッドソリューション ● 送配電の高効率化 ■ エネルギーマネジメント ● 電力ピークカットなどエネルギーマネジメントによるスマート化 ■ 発電 ● 風力などの非化石エネルギーを活用した発電システムの普及 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートなロジスティクス ● ロジスティクス全体のスマート化による省エネ化 ■ ファクトリーオートメーション ● 生産リードタイム短縮などによるエネルギーの効率化 ■ 水事業 ● 上下水道システムの高効率化 ■ 産業機器 ● 産業機器の高効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道 ● 鉄道車両の省エネ化 ● 運行システムのスマート化 ■ 昇降機 ● エレベーター・エスカレーター更新による省エネ化 ● ビルトータルソリューションによるエネルギー使用の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートシティ ● 街区総合エネルギー管理ソリューションによるCO₂削減 ■ 自動車電動化 ● 電動パワートレインシステムによるEV化 ■ 家電 ● 家電の省エネ化 ● コネクテッド家電の普及 ■ スマートセラピー ● 医療機器の省エネ化

